



STEP 1 設置

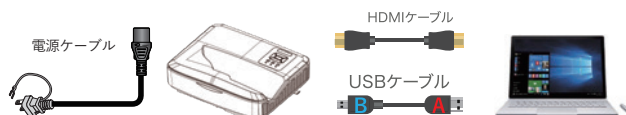
黒板下⇔設置台の間隔が約**40cm**になる台や椅子を用意し、ワイドを設置。壁⇔設置台の目安距離は約**50cm**。



※安定した台を使用してください

STEP 2 ケーブル接続

- ① HDMI → HDMI1 に挿す
※PCによっては変換器が必要になります
- ② USB → ワイド側にタイプ **B**
PC 側にタイプ **A** を挿す
- ③ ワイドに電源（三つ穴）プラグを挿す



STEP 3 電源 ON

ワイドの電源を入れ、出力を『HDMI1』にする

Check!



STEP 4 画面の表示モード選択

win: Windows キー + **P** PC の映像出力を「複製」

mac: Command キー + **F1** 「拡張」を選択

Chromebook: 設定→デバイス→ディスプレイ→
「内臓ディスプレイをミラーリング」の ☒ を外す

STEP 5 PC の画面サイズを調整

- ① PC 画面を右クリック→「ディスプレイ設定」
- ② 「解像度 1920×720」に設定



※一部解像度を変更できない機器があります

STEP 6

リモコンでアスペクト比を「自動」にする

Check!



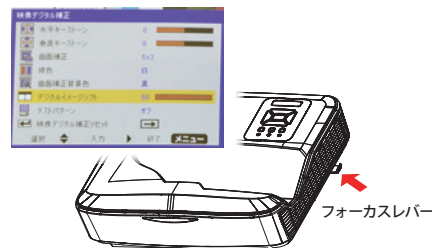
（アスペクト比表示を消すためには、リモコンの『終了』ボタンを押す）

※一部解像度を変更できない機器があります

STEP 7 黒板 or ホワイトボードへの投影調整

平面黒板に対しての調整方法

- ① ワイドを設置している台など物理的に動かし、左右のバランスを調整し、投影画像を平行にする（この時点では映像下部が黒板の枠外に収まっていなくても問題ない）
- ② リモコンのメニュー⇒スクリーン⇒映像デジタル補正⇒デジタルイメージシフトの項目で映像を上げて黒板の枠内に収める（右図参照）
- ③ フォーカスレバーでフォーカスを調整して完了（右図参照）

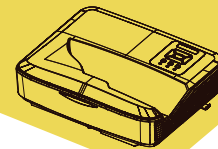


参考) BG 黒板サイズ 1200×3600mm

参考) 調整完了後の画像



裏面につづきます



STEP 8 LCT ソフトのインストール

※インストールの手順（Windows PC の場合）

- ① 同梱の USB メモリで「LCTvx.x.exe」を起動する
- ② セットアップが始まるので、画面の案内に従いインストールを完了させる

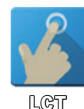
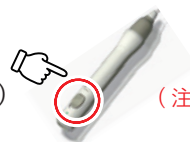
win_LCT_v4.1.3

※各ソフトのインストール時にセキュリティ警告が表示される場合は、「はい」または「実行」をクリックして進める

STEP 9 IR ペン（電子ペン）の校正作業

※インストールした LCT ソフトでタッチ位置の校正を行います

- ① 投影時に LCT ソフトを起動し「タッチエリア設定」の「自動」を選択する
- ② 「校正」の「自動」を選択する（注1）
- ③ IR ペンの電源を入れる（マウス同様の PC 操作が行える）



（注意1）周囲を暗くし、ワイード本体を動かさず投影面に影ができないように注意

STEP 10 ワイードソフトウェアのインストール

※電子黒板機能（ペンでの書込やガイド線の表示）が使えるようになります

- ① USB メモリで「ワイードセットアップ.exe」を起動する

ワイードセットアップ.exe

- ② セットアップが始まるので、画面の案内に従いインストールを完了させる



A IR ペンの書き込み機能

PDFや画像ビューア、ブラウザ上に書き込みを行えます。デスクトップ画面や一部のウィンドウでは書き込みを行えません。



右上の歯車ボタンより、お気に入りのペンを4つ登録できます。色、透明度、線の種類と太さの調整が可能。透明度を下げると蛍光ペンに。

お役立ちメモ

B 黒板にガイド線表示

方眼・国語・英語・音楽など、教科に応じて任意のガイド線を表示できます。ガイド線は白黒反転もできます。



C 複数のウィンドウを配置

複数のウィンドウを並べて整列配置できます。2、3、4、8分割の中から好きなレイアウトを選んでください。



D キャプチャ機能

1. 【キャプチャ】ボタンを押して切り取りたい範囲を選択します。
2. 画面右側に配置されます。

